

# ねらいの設定



授業のねらいは、どのように設定すればよいの？

指導する内容項目と児童生徒の実態から、道徳性の諸様相のどこに焦点を当てて授業をするのかを検討し、授業のねらいを設定します！



## 道徳性の諸様相に関する基礎知識

道徳性の諸様相とは、道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲、道徳的態度のこと。様相は、一つ一つが独立しているものではなく、関わり合っている。よって、授業のねらいを設定する際も、必ず一つに絞るということではない。  
例) 授業のねらい 「～道徳的心情を育てる」「～道徳的实践意欲と態度を育てる」

## 授業のねらいを設定する例 小学校高学年「B-(7) 親切, 思いやり」

1. 指導する内容項目の中から授業のねらいとする道徳的価値を明らかにする。  
内容項目「親切, 思いやり」の中で、授業では、相手の立場に立って親切にするという道徳的価値について指導する。

小学校第5学年及び第6学年「B-(7) 親切, 思いやり」  
誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

2. 児童生徒の実態把握から授業のねらいを設定する。

児童の実態把握	授業のねらい
相手の気持ちを考えることなく、何かをしてあげることが親切と捉えている児童が多い。	相手の立場を考えて親切にしようとする <b>道徳的判断力</b> を育てる。
親切にすることが大切と分かっているがなかなか親切にできない児童が多い。	相手の立場に立ち、進んで親切にしようとする <b>道徳的態度</b> を育てる。

## ど う と く プ ラ ス

### 道徳性の様相を内容項目に当てはめると・・・

道徳性の様相を中学校の内容項目「礼儀」に当てはめると、例えば、以下の表のような道徳性の様相の具体的なイメージを持つことができ、授業のねらいを設定する際に役に立つ。

道徳性の様相	内容項目に合わせた道徳性の様相の具体的なイメージ
道徳的判断力	時と場に応じた適切な言動を判断する。
道徳的心情	自分から進んで礼儀にかなった行動をとると、相手と程よい距離を保つことができることのよさに気付く。
道徳的实践意欲	照れる気持ちやその場の状況に左右されず、尊敬や感謝等の気持ちを示そうとする。
道徳的態度	礼儀の意義や時と場に応じた適切な言動について主体的に考えて行動しようとする。

### 参考文献